

經濟論叢

第七十二卷 第一號

貿易金融と爲替問題	松 井 清	(1)
人間關係論をめぐる一考察	降 旗 武 彦	(17)
絶對主義への道	角 山 榮	(37)
フォルボネとケネー	菱 山 泉	(55)
日本鐵鋼業の市場構造	中 村 忠 一	(77)
實業同志會の結黨	市 原 亮 平	(100)

[昭和二十八年七月]

京都大學經濟學會

記事

經濟學部

○ 助手中村忠一氏は本年三月三十一日付にて甲南大學講師として轉任せられた。

○ 助教授(分枝)阿部統氏は四月一日付にて經濟學部勤務に轉せられた。

○ 大學院特別研究生鎌倉昇氏は四月一日付にて京都大學助手に任ぜられた。

○ 助手足利末男氏は五月一日付にて講師に昇任せられ分枝勤務に轉せられた。

經濟學會

○ 昭和二十八年四月例会 四月三十日(木)午後〇時三十分より法經會議室に於て開催され次の研究報告があつた。

資本の絶對的過剩生産について 吉信 肅氏
○ 五月例会 五月二十八日(木)午後一時三十分より法經會議室に於て開催され次の研究報告があつた。

自然利子論と有効需要の原理

鎌倉 昇氏

○ 六月例会 六月四日(木)午前十一時より樂友會館において本年度大學院入學歡迎會を兼ね經濟學會例会を開催され次の研究報告があつた。

社會科學について

出口 勇藏氏

研究報告に引續いて歡迎會に移り穗積學會長歡迎の辭、ついで參會者各々自己紹介をかね抱負、希望を述べあい午後六時に散會した。